

# 中経論壇

経営支援NPOクラブ

吉田 仁



張をほぐすことが重要なのだ。ここでは仕事に対置する活動を意味しているが、「遊び」はゆとりの意味でも使われる。

「遊びをせんとや生まれけん、戯れせんとや生まれけん」。今様は、平安末期の厳しい世相の中で、庶民がみずから心を素直に吐露したものだと思う。この歌の解釈はいろいろあるようだが、私は、遊ぶことは人生において大切な要素で、子供の遊ぶ姿を見るとつくづくそれを感じる。大人が生きていくうえでは、緊張を強いられ、ストレスが多いからこそ、ある時間、子供のように無心に遊んで緊

大学受験生のところ、先生からゆとりの大切さをアドバイスされたことを思い出す。琴が美しい音色を出すのは、ピアノと張りつめた弦の両端を緩い糸が支えているからで、張りつめた弦だけでは、爪弾いたときピツンと切れてしまつて音は出ないというのだ。そのころは受験生の間では、まことしやかに「4当5落」(4時間の睡眠なら合格するが、5時間では不合格)が言っていた。琴の両端の糸の

# 強権国家のリーダーに今様を

ように、ゆとりを持ちなさいという、緊張しきった受験生に対する先生の配慮の言葉であった。

子供のように遊ぶのも、ゆとりの心を持つのも、自由な状態であることが前提である。束縛されていては子供は遊ぶことはできないし、自由がなければ心にゆとりは生まれない。

## 遊び心の大切さ

自由に発想し、多様性を尊重するからこそ、真の遊びができる。余裕ある生活が送れる。そうした観点から、強権的政治を行つてゐる国のリーダーには、「遊ぶ子供の声」を聴いてほしい。霸権主義国家のリーダーの特徴は、

自らの正義に囚われて、他のちは認めないと、極めて不寛容な姿勢である。強い隣国に侵攻しているとすれば、自分一人の価値観の押し付けでしかない。そのためには常に遭い難民にならざるを得ない、一般の人々の苦しみに思いを致すことができない。されば、その時点で大国のリーダー失格ではないか。

無心に遊ぶ子供の声を聞く余裕ができる、霸権主義や自らの権力欲を客観的に見て、違うリーダー像を描くこともできるだろう。民主主義は、人類が歴史の中から学んだ究極の統治システムと私は確信しているが、世界では強権的国家のほうが多いという現実がある。日本の外交手段として、こうした国々のリーダーに梁塵秘抄を進呈し、「遊び余裕も大切ですよ」とメッセージを送つてはどうだろ